

窓辺をかえる、明日が変わる。

TOSO トーソー株式会社

(東証2部 証券コード : 5956)



平成28年3月期 (2015年度)

第2四半期 決算説明

2015年11月

1. 事業環境および当社の状況

事業内容（主な製品）

室内装飾関連事業（カーテンレール類）



住宅用カーテンレール



病院用カーテンレール



ピクチャーレール



電動カーテンレール

室内装飾関連事業（ブラインド類・間仕切類）



ベネシャンブラインド



パーティカルブラインド



ロールスクリーン



パネルドア／アコーディオンドア

その他の事業



介護関連用品

物流関連事業

その他の事業

売上高構成率

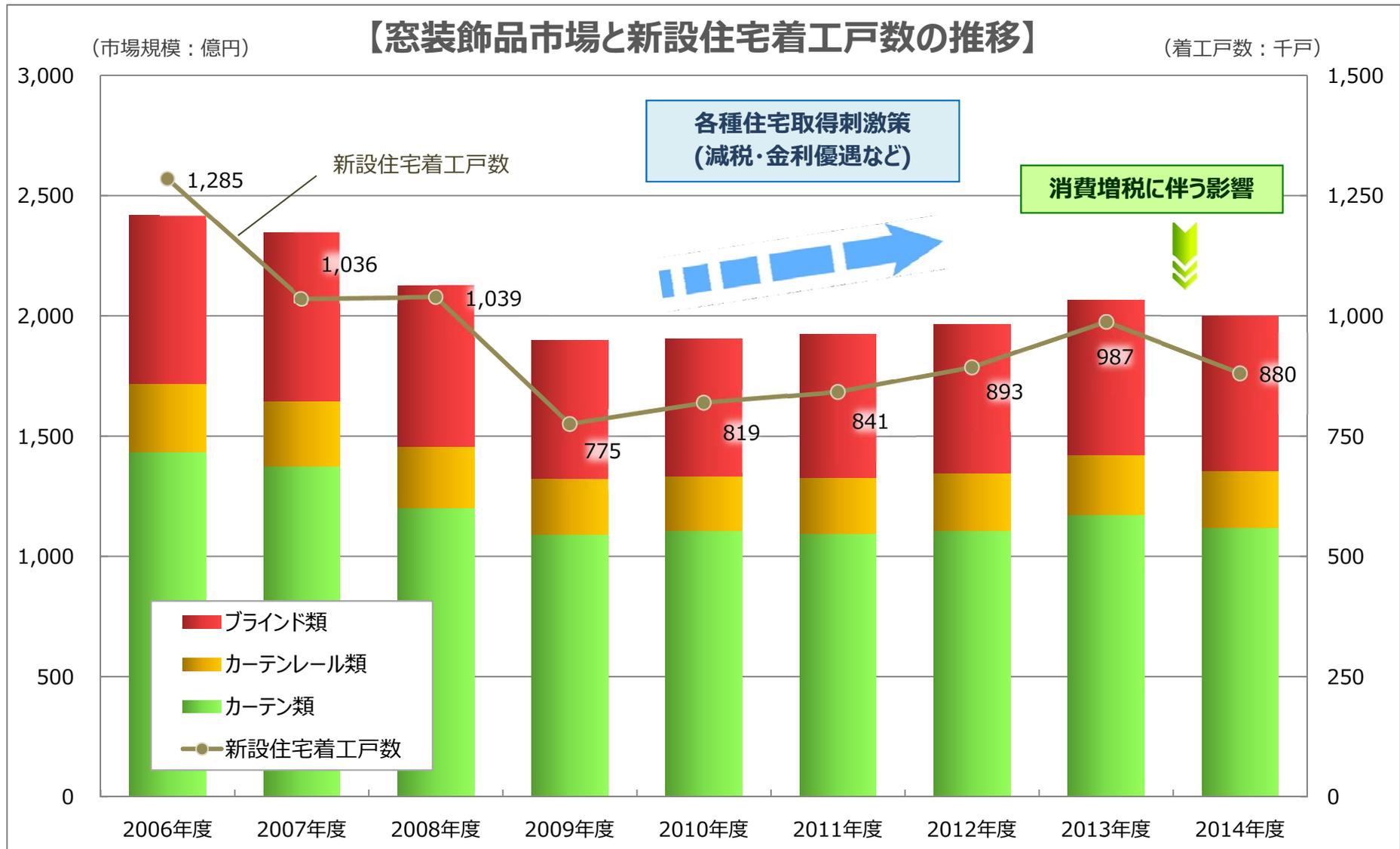
2 %

室内装飾関連事業

売上高構成率

98 %

窓装飾品市場の状況



※データ出典：国土交通省、日本インテリアファブリックス協会

市場規模と当社シェア

カーテンレール類・ブラインド類

国内市場規模：約**880**億円（2014年度）

カーテンレール類
約**250**億円

約 **50**%

TOSO

ブラインド類
約**630**億円

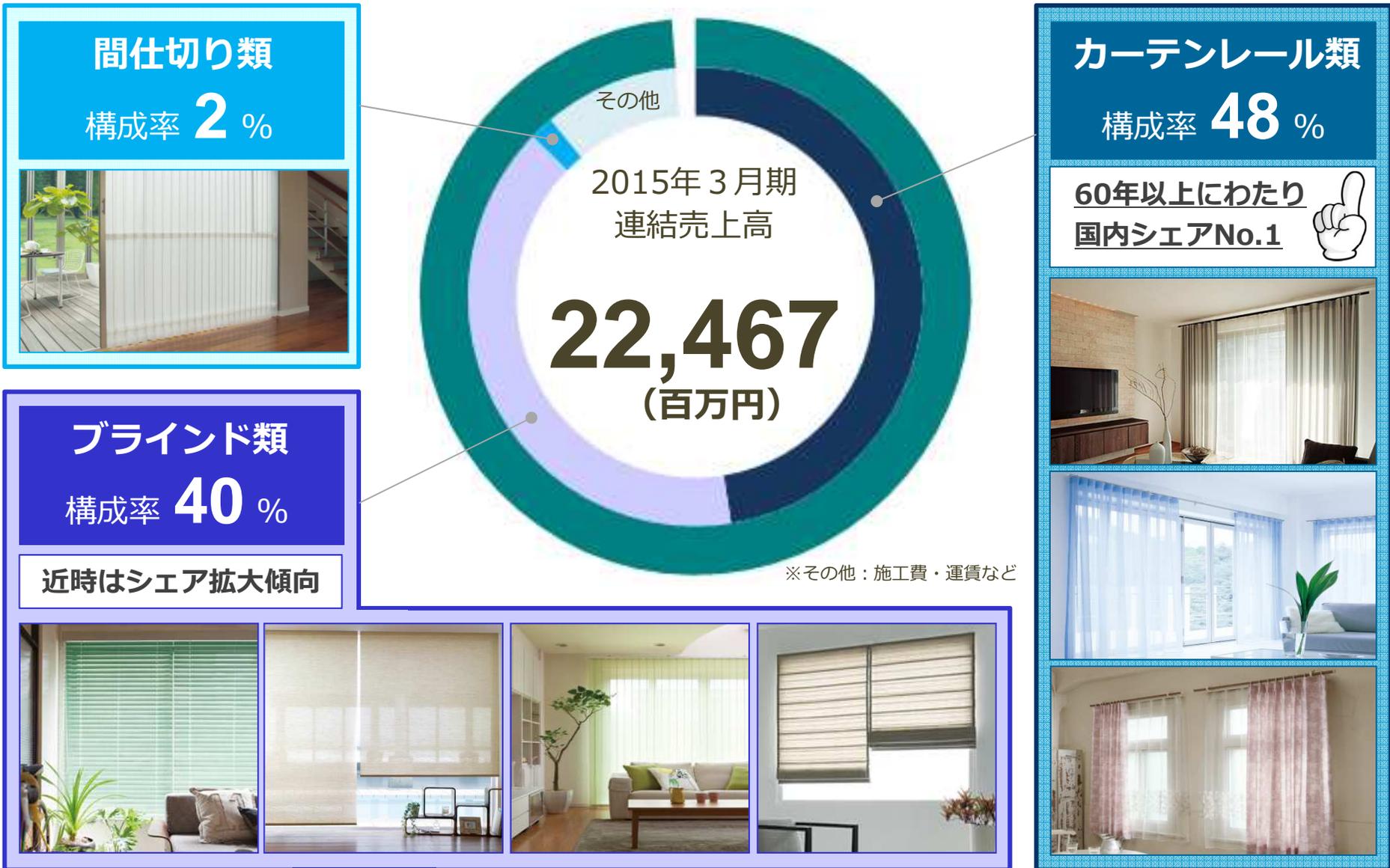
約 **15**%

安定した収益基盤

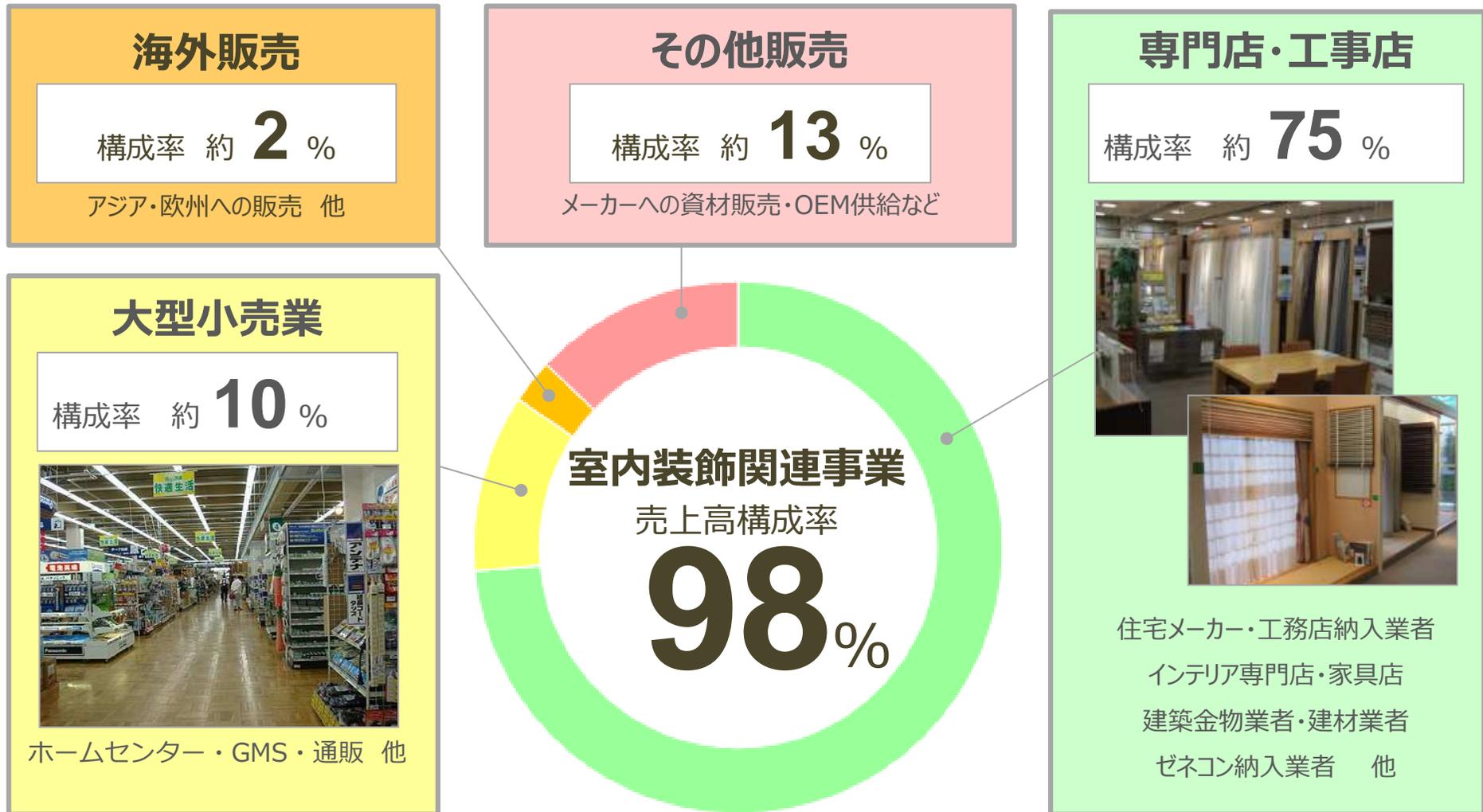
シェア拡大の余地あり

※ カーテンレール工業会およびブラインド工業会数値より当社推定

製品分類別 売上高構成（室内装飾関連事業）



販売先別 売上高構成（室内装飾関連事業）

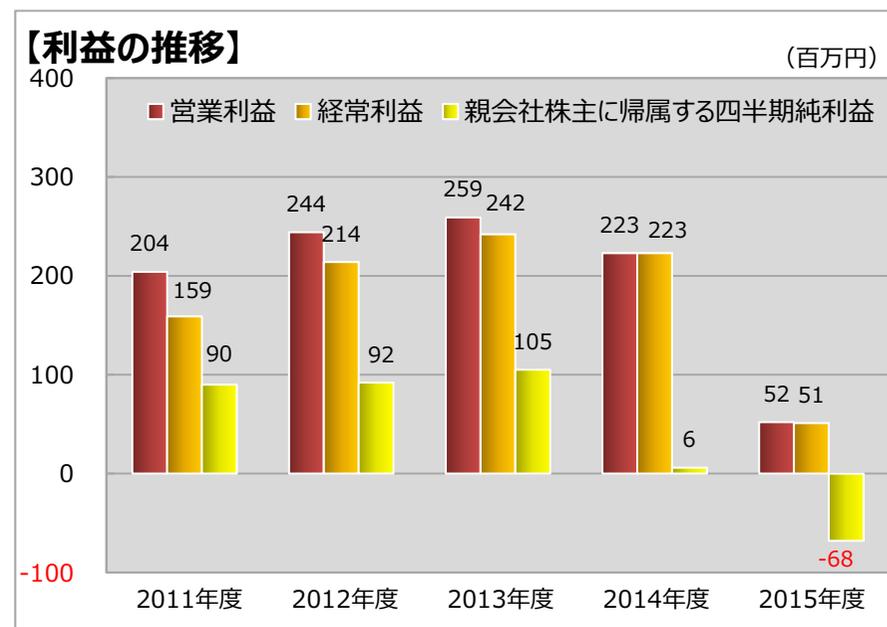
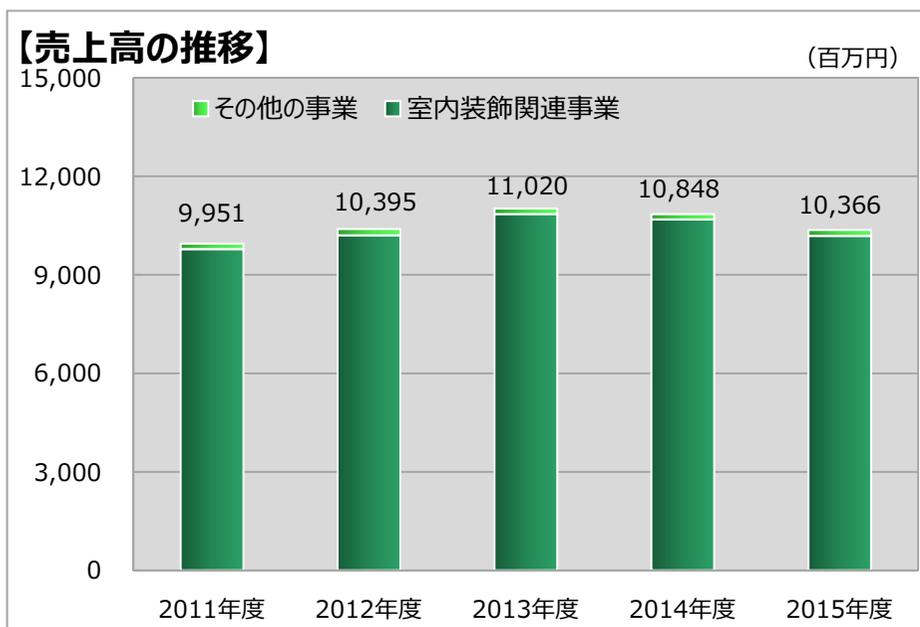


新設住宅市場中心の販売

2. 業績概況

第2四半期業績概況

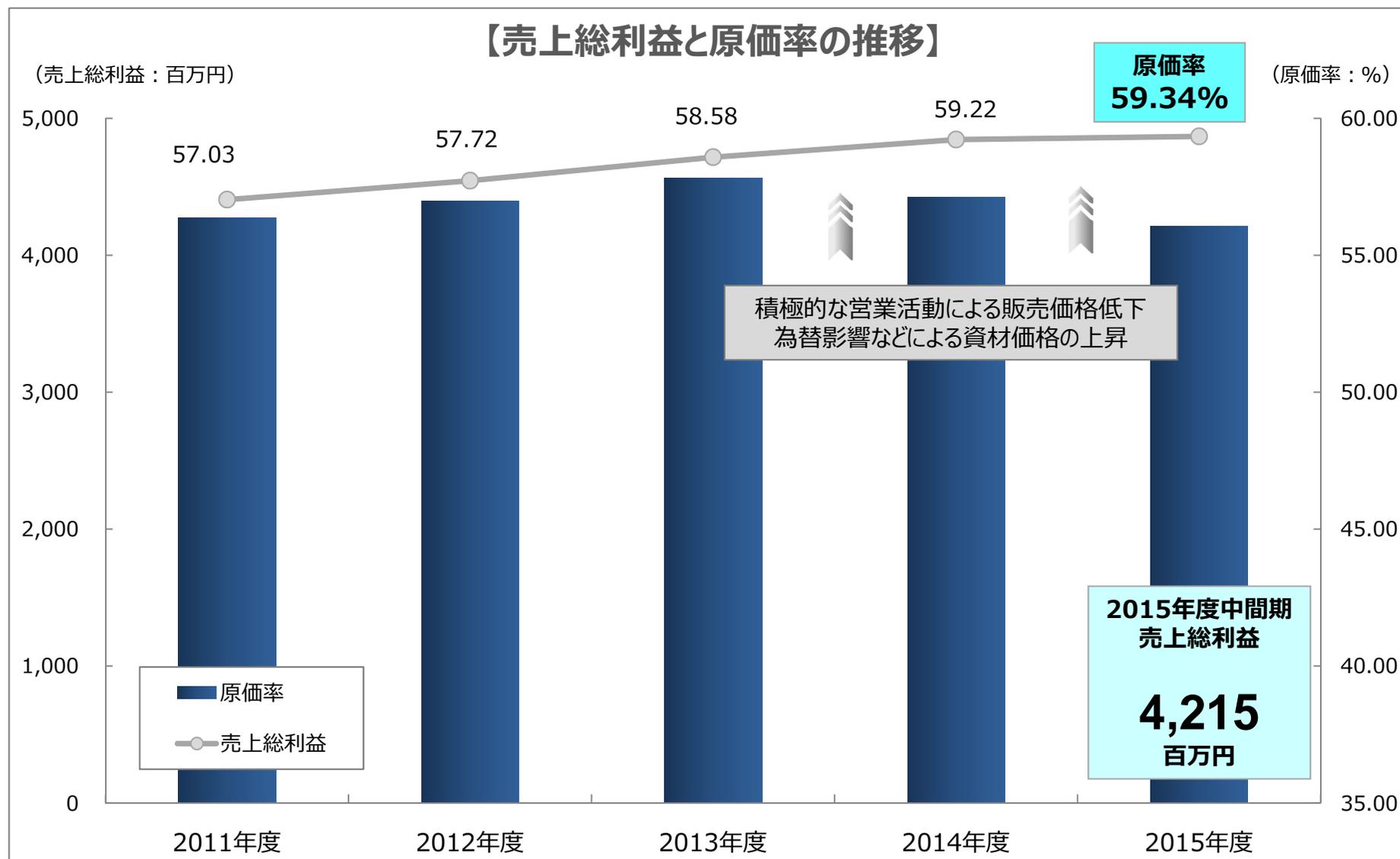
	前年同期比		コメント
売上高	4.4%減収	↓	消費増税後の反動減一巡も個人消費の回復遅れ
営業利益	171百万円の減益	↓	人件費、販売関連費用など抑制も売上高の減少が影響
経常利益	172百万円の減益	↓	営業外収入、費用とも減少
親会社株主に帰属する 四半期純損益	68百万円の損失	↓	災害による損失（113百万円）を特別損失へ計上



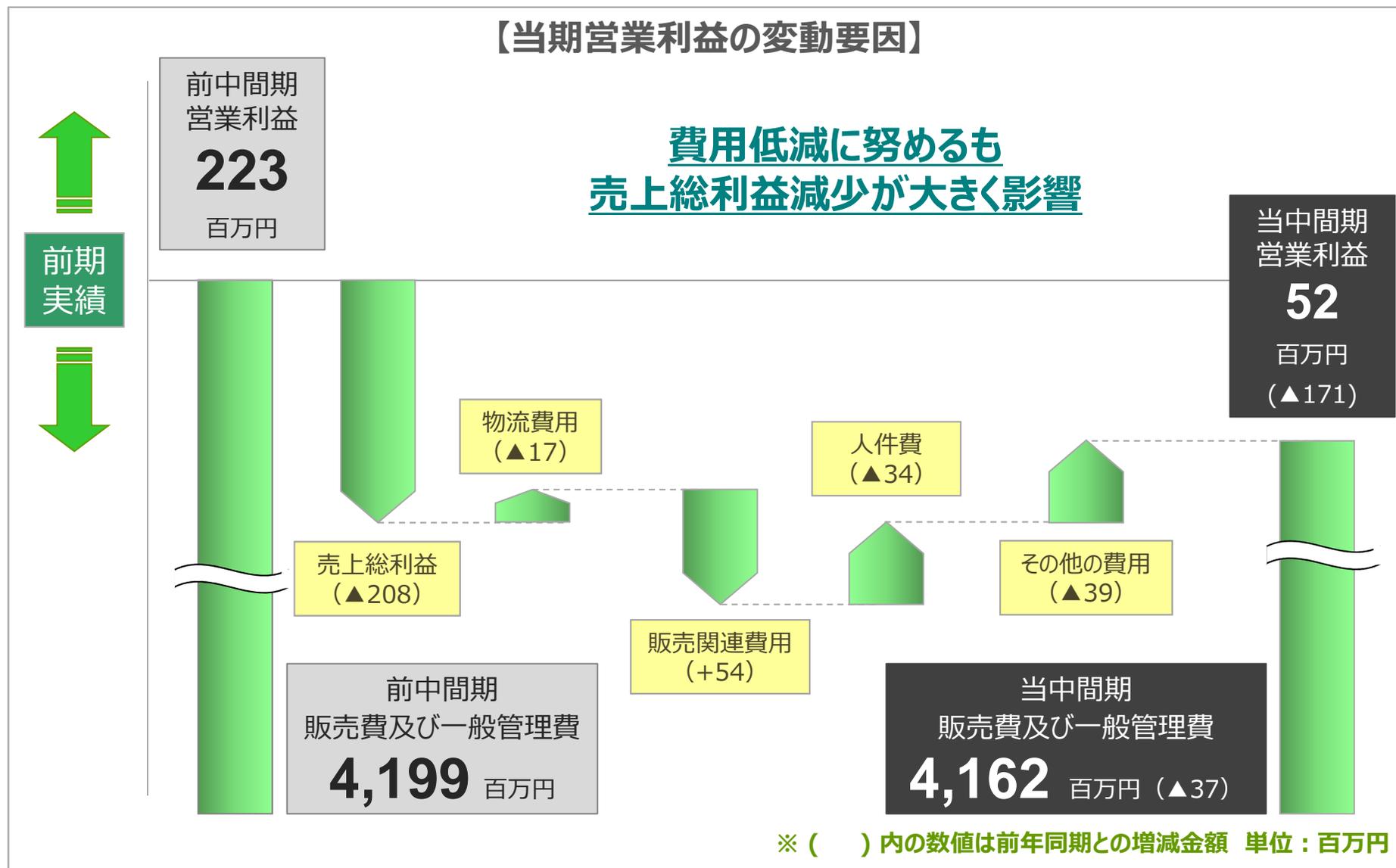
連結売上高の状況

	商品	販売状況	コメント
室内装飾関連事業	カーテンレール類 	販売状況 	<ul style="list-style-type: none"> 7月発売新製品を中心とした展示会開催による販売促進活動（全国24ヶ所にて開催） シェア維持・拡大に向けた新規獲得活動 住宅関連市場の本格回復遅れ
	ブラインド類 	販売状況 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ需要を取り込んだ新製品の発売（遮熱効果の高い製品） 施設（住宅以外）獲得や新規開拓などを推進 住宅関連市場の本格回復遅れ
その他の事業	その他の事業 	販売状況 	<ul style="list-style-type: none"> 新製品の販売活動を強化 新規取引先の獲得、OEM供給などが好調に推移

売上総利益と原価率の状況



固定費と利益の状況



貸借対照表・キャッシュフローの状況

		【貸借対照表】		※単位：百万円()内は前期末比増減
《主な変動要因》 流動資産 ・現金及び預金 (+532) ・受取手形及び売掛金 (▲1,153) ・繰延税金資産 (+85) など 固定資産 ・建物及び構築物(純額) (+71) ・リース資産 (▲253) ・無形固定資産 (+218) など	総資産 21,090 百万円 (▲386)	流動資産 15,463 (▲545)	負債 9,983 (▲182)	《主な変動要因》 負債の部 ・支払手形及び買掛金(▲139) ・電子記録債務 (+280) ・未払金 (▲261) など 純資産の部 ・利益剰余金 (▲121) ・繰延ヘッジ損益 (▲81) など
	固定資産 5,626 (+159)	有利子負債 4,228 (+137)	純資産 11,107 (▲204)	
【キャッシュフロー計算書】				
	前中間期	当中間期	増減	
営業活動によるキャッシュ・フロー	873 百万円	771 百万円	▲102 百万円	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲187 百万円	▲237 百万円	▲50 百万円	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲43 百万円	▲10 百万円	+33 百万円	

通期業績見通し

	2014年度 第2Q累計	2015年度 第2Q累計	前年同期比	2014年度 通期実績	2015年度 通期見通し	前期比
売上高	10,848	10,366	95.6%	22,467	23,000	102.4%
原価率	59.22%	59.34%	(※) 100.2%	58.96%	(上昇傾向も低減活動を強化)	
販管費	4,199	4,162	99.1%	8,413	(適切な費用執行と低減活動推進)	
営業利益	223	52	23.4%	805	720	89.4%
経常利益	223	51	22.9%	784	700	89.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	▲68	-	345	300	86.9%

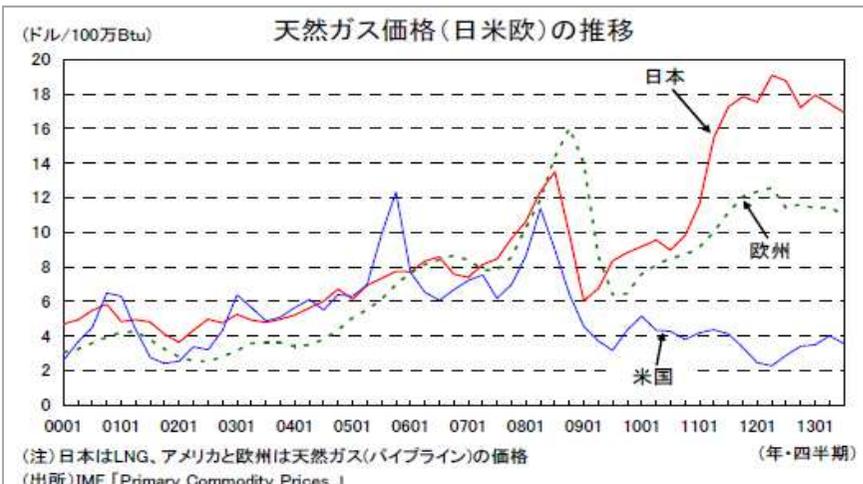
(※)原価率の前年同期比は、「2015年度原価率」÷「2014年度原価率」にて算出

【下期見通しについて】

市場環境	<ul style="list-style-type: none"> 消費増税前の駆け込み需要に伴う反動減は一巡したものの、新設住宅着工戸数は本格的な回復まで至っていない 世界経済の成長鈍化、輸入原材料価格の上昇などの懸材料あり
売上高	<ul style="list-style-type: none"> ブラインド類を中心に新製品の投入およびキャンペーンなどの拡販活動を積極的に推進 リフォーム需要や新規領域への取り組み強化
利益	<ul style="list-style-type: none"> 原価低減活動・生産性向上など経営体質の強化に向けた取組みを継続

3. 今後の活動について

市場環境の見通し



世界経済の減速、輸入原材料価格の高騰など不透明な状況

中期展望



① 国内新設住宅事業

事業基盤（コアビジネス）の持続的成長

開発のスピードアップ／コスト競争力の強化などにより、インテリアトレンドに合わせた特長のある製品を継続的に投入。また、「省エネ」「節電」などの社会的需要へもタイムリーに対応。

ブラインド類のシェア拡大

ベーシックシリーズ「Colt（コルト）」



Next 1
スリットカラー 全32色
Next 2
滑り止めホルダー

ベネシャンブラインド



コルト専用カタログ



ロールスクリーン



ローマンシェード



プリーツスクリーン



パーチカルブラインド

カーテンレールのパイオニア

トップメーカーとしてのデザインへのこだわり



2013年受賞「フィットアーキ」



装飾性カーテンレールの品揃えは30種類以上

機能性重視の製品開発

市場・消費者ニーズへのタイムリーな製品提案



「遮熱」「断熱」
製品の投入



② 海外販売

成長市場における需要の取り込み

実績を積み上げてきた海外大型物件強化に加え、インドネシア生産子会社の活用などを積極的に推進することで、製品供給体制の強化するとともに、TOSOブランドの認知向上を目指す。

海外大型物件の獲得強化



Taj Mahal Palace Hotel / India



Jumeirah / Germany



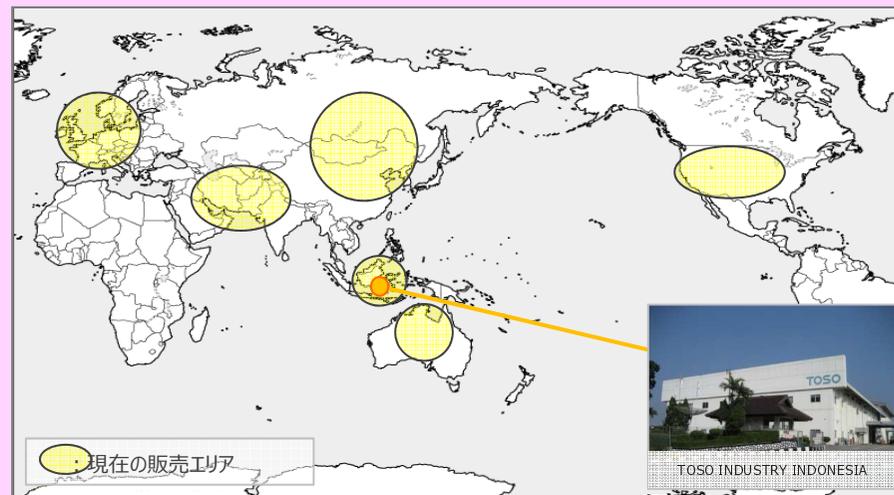
Bank Central Asia / Indonesia



Cyber-port City / Hong Kong

海外大型物件の獲得活動を継続推進

販売エリアの拡大



現地生産子会社をマザー工場として機能拡大

海外MD活動の強化によるブランディング推進

拡大する新興国の消費需要の確実な取り込み

③ 新規領域

新たな事業基盤の確立

ホテルやオフィスなどの非住宅施設の獲得や、リフォーム市場への取り組みなど、新設住宅領域以外への販売強化。介護関連用品などの新規事業についてM&Aなども視野に入れた事業拡大を推進。

非住宅領域



セントレスホテル大阪



東京国際空港ANA国際線フロンツ



グランフロント大阪



三井記念病院

非新設住宅・周辺領域



オーニング・外付けロールスクリーン



内窓

非住宅領域・大型都市開発などの獲得を強化

コアビジネス周辺領域における製品の継続投入

新規事業領域

介護関連事業の拡大（M&Aなども視野）

新規事業への参入に向けた調査・検討の強化





TOSO トーソー株式会社

(東証2部 証券コード : 5956)

当資料に関するお問い合わせ先 : トーソー株式会社 経営企画室

TEL : 03-3552-5877 FAX : 03-3552-1380 E-mail : ir@pub.toso.co.jp